

3 福祉

【現状】

- 平成28年10月1日の南信州地域の高齢者数は52,648人で、高齢化率は、32.0%と平成23年(29.5%)と比較して高齢化が一層進行している。これに伴い要介護(要支援)者も9,145人から9,639人へと増加している。
- 特別養護老人ホームの在宅の入所希望者は150人余となっており、老人福祉施設整備の需要は一定程度認められる。
- 平成26年の障害者総合支援法の施行に伴い、障がい者が地域で安心して安全に生活ができるよう、障害福祉サービスの提供、相談事業の充実等の環境整備を推進している。
- 高齢者世帯(特に単身世帯)を中心に、生活に困窮する世帯が増加していることから、生活保護の要保護者や生活に困窮し就労努力をしても職に就けない方への支援等、低所得者対策の重要性が増している。
- 中国帰国者が他の圏域に比べて多く、高齢化が進む中で、2世、3世も含め言葉の問題や生活習慣の違いなどから生活のさまざまな面で支援を必要とする方が多い。
- 土砂災害警戒区域等に指定された地域に立地する社会福祉施設が多数あり、地震、大雨その他有事の際の危機管理体制の強化、改築に伴う移転などの対策が重要となっている。

〈高齢化の状況〉 (単位：人、世帯、%)

	南信州(飯伊)地域		長野県	
	H22	H27	H22	H27
高齢者数 (65歳以上人口)	49,973	52,286	569,301	626,085
高齢化率(総人口に占める割合)	29.5%	32.4%	26.5%	30.1%
高齢者のいる世帯数	31,598	32,637	367,070	395,388
(一般世帯に占める割合)	54.1%	56.3%	46.3%	49.1%
高齢者単身世帯数	5,555	6,583	68,614	84,134
(65歳以上の人口に占める割合)	11.1%	12.6%	12.1%	13.4%

(資料：総務省「国勢調査」)

【課題】

- 介護保険サービス事業者の適切な配置及び事業運営の支援並びに在宅介護福祉の充実
- 障害者が住みなれた地域で自分らしく生活し、就業するための支援の充実
- 生活困窮者・就労困難者への支援の充実
- 地域一体となった中国帰国者支援の推進
- 関係機関の連携による災害時要援護者の支援体制の整備